

植物多様性センターの「雪と植物」

1月20日の大寒の途端に大雪に見舞われた東京。折角咲き始めたフクジュソウやユキワリイチゲもちょっとの間お預けです。

雪に埋もれて花や出始めた芽は大丈夫かな。でもご心配なく。小さな氷の粒の集まりの雪は中に多くの空気が含まれており、天然の断熱材です。気温が零下でも雪の下は0℃くらいなので大丈夫。

一面雪に覆われた景色は、普段と違った美しさを感じます。白い雪が全てを覆い汚れのない銀世界に見えるためですが、よく見ると雪の上にはその時にしかみられない世界が広がっていることもあります。雪に負けずにしたたかに生きる植物に会いに来ませんか。



違う場所に来たかの様な
一面の銀世界



リボン状の黄色の花弁が
咲き始めたシナマンサク



積もった雪の上に風散布で
飛んで来たイヌシデの実



食糧不足でセンダンの実(上左)
を食べに来たムクドリの足跡